

かくどぶんさんほう

# 角度分散法

## ■ 用語解説 ■

原子炉を中性子源とする中性子散乱装置で行われる測定方法で、散乱角、結晶角など、角度を変化させてスキャンを行うのでこう呼ばれる。X線回折実験でも用いられている。これに対してパルス中性子源では飛行時間法(ToF法)が使われる。